

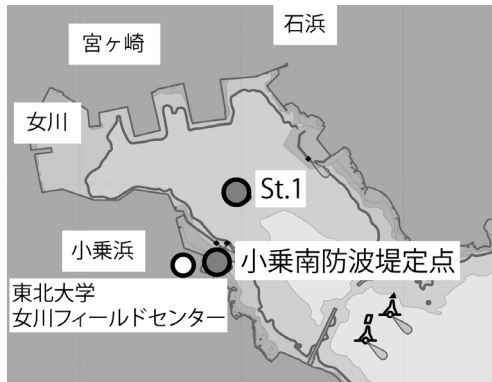
## 週刊 女川湾海況速報 (No.38)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

4 月 8 日から 12 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

### 観測点



### 小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温は全層で下降し、6～7℃台を示した。経時的には 10 日に全層で下降した後、徐々に上昇。塩分は先週と比較して表層（0m）で下降したが、底層（5m）では上昇。経時的には 10 日まで表層で低い値。全体的な水温の下降は外洋水の侵入の影響と推定。

水深 [m]	4月8日 (月)	4月9日 (火)	4月10日 (水)	4月11日 (木)	4月12日 (金)
0	6.8 (31.9)	7.5 (31.0)	6.2 (31.1)	6.6 (33.3)	7.0 (33.1)
5	6.7 (33.5)	6.7 (33.5)	6.4 (33.0)	6.4 (33.2)	6.6 (33.4)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1 パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。

\*8日は水深 6m のデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で下降。経時的には 9 日まで全層で高い値（4.1FTU 以上）を示した。（単位は FTU）

水深 [m]	4月8日 (月)	4月9日 (火)	4月10日 (水)	4月11日 (木)	4月12日 (金)
0	5.2	4.2	1.4	1.1	0.7
5	7.8	4.1	2.3	1.4	1.8

③溶存酸素：先週と比較して全層で下降したが、9～11mg/l 台を示した。経時的には 10 日に全層で上昇した後、10～11mg/l 台を維持。

水深 [m]	4月8日 (月)	4月9日 (火)	4月10日 (水)	4月11日 (木)	4月12日 (金)
0	9.6	9.9	11.0	10.8	11.0
5	9.3	9.5	10.7	10.8	10.6

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

### St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 6.4～6.6℃、32.5～33.5 パーミルの範囲にあり、全層に外洋水の影響が及んでいたと推定。濁度は 1.3～3.6FTU の範囲にあり、底層（19m）で最大。溶存酸素は 9.3～10.3mg/l の範囲にあり、底層で最小。

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	6.4	32.5	1.3	10.3
5	6.4	33.1	2.1	10.1
10	6.6	33.4	2.3	9.6
15	6.5	33.5	2.5	9.5
19	6.6	33.5	3.6	9.3

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。